

# 《 一般社団法人 全国清涼飲料工業会 》

## 清涼飲料業界の低炭素社会実行計画

		計画の内容
1. 国内の 企業活動 における 2020 年の 削減目標	目標水準	2020 年度 CO <sub>2</sub> 排出原単位 10%減 (1990 年比) 原単位目標 (CO <sub>2</sub> 排出量 k g / 清涼飲料製造 k l ) 容器の内製化を除く
	目標設定の根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清涼飲料中身メーカーは、PET 容器の内製化が急激に増えており、容器製造メーカーとの CO<sub>2</sub> 排出の相関が判断し難く、内製化を除く目標とした。</li> <li>また、基準年の 1990 年は容器内製化が無かった。</li> <li>・ 燃料転換及び設備投資状況等、諸施策の展開状況を鑑み 2020 年の目標を設定した。</li> </ul>
2. 主体間連携の強化 (低炭素製品・サービスの普及 を通じた 2020 年時点の削減)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造機器メーカーとの情報の共有化。</li> <li>・ 企業間の枠を超えた連携 (共同配送、包材の企画統一等)</li> <li>・ 容器包装 8 素材の 3R 活動 (3 R 推進団体連絡会 「自主行動計画」)</li> <li>・ PET ボトルの循環型リサイクルの取り組み (ボトル to ボトル 「B to B」)</li> <li>・ バイオ PET (植物樹脂) 使用による石油由来減量の削減。</li> <li>・ モーダルシフトの導入</li> <li>・ エコカーの導入</li> <li>・ 自動販売機の省エネ化</li> <li>・ 容器の内製化※に伴う調達の輸送効率改善 ブロー成形されたボトルとプリフォームの輸送では積載量に大きな違いが発生する</li> <li>・ 消費者へのリサイクルの取組み啓発 資源循環の推進により社会全体での CO<sub>2</sub> 抑制</li> <li>・ 会員企業の更なる意識醸成</li> </ul>

3. 国際貢献の推進 (省エネ技術の普及などによる 2020年時点の海外での削減)	未定
4. 革新的技術の開発 (中長期の取組み)	未定

※内製化とは中味製造工場内でPETプリフォームの製造やブロー成形工程を指す。